

週報



2016 年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう

2016 年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2016 年 活動指針

1. 理想家庭と心情共同体形成
2. 神氏族メシヤ活動強化
3. 二世圏活性化
4. 社会貢献と救国救世基盤造成

世界平和統一家庭連合

(旧 世界基督教統一神霊協会)

加賀家庭教会

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION
KAGA FAMILY CHURCH

教会長：石垣 重広

み 言

我々はこちらで、墮落人間が重生しなければならぬ理由について調べてみることにしよう。

アダムとエバが創造理想を完成して、人類の真の父母となったならば、彼らから生まれた子女たちは原罪がない善の子女となり、地上天国をつくったであろう。しかし、彼らは墮落して人類の悪の父母となったので、悪の子女を生み殖やして、地上地獄をつくることになったのである。したがって、イエスが、ニコデモに言われたみ言どおり、墮落した人間は原罪がない子女として新たに生まれ直さなければ、神の国を見ることのできないのである。

(中略)

原罪のある悪の父母が、原罪のない善の子女を生むことはできない。したがって、この善の父母が、墮落人間たちの中にいるはずはない。それゆえに、善の父母は、天から降臨されなければならないのであるが、そのために来られた方こそがイエスであった。彼は墮落した子女を、原罪のない善の子女として新しく生み直し、地上天国をつくるその目的のために真の父として来られた方であった。

(中略)

墮落人間を再び生み直してくださるために、イエスは、後のアダム(コリント・一五・45)として、生命の木の使命をもって(黙二二・14)人類の真の父として来られたのである。このように考えてくると、ここに後のエバとして、善悪を知る木の使命をもった人類の真の母が(黙二二・17)、当然いなければならないということになる。これがすなわち、墮落した人間を、再び生んでくださる真の母として来られる聖霊なのである。

(中略)

父母の愛がなくては、新たな命が生まれることはできない。それゆえ、我々が聖霊の感動によって、イエスを救い主として信じるようになれば、霊的な真の父であるイエスと、霊的な真の母である聖霊との授受作用によって生ずる霊的な真の父母の愛を受けようになる。そうすればここで、彼を信じる信徒たちは、その愛によって新たな命が注入され、新しい霊的自我に重生されるのである。これを霊的重生という。

(原理講論 P264～266 重生論より)